

記者発表資料

第1回 由比地すべり対策検討委員会 議事概要について

平成16年6月18日
国土交通省中部地方整備局
河川部 河川計画課
富士砂防事務所
静岡県
河川砂防総室砂防室

1. 経緯

静岡県庵原郡由比町由比地区（サッタ山）において、豪雨や東海地震等により大規模な地すべりが発生するおそれがあることに鑑み、地すべり機構とその対策の基本的な方針について検討するために、地すべりに関する学識経験者等で構成される由比地すべり対策検討委員会を設立し、第1回委員会を開催しました。

第1回委員会では、由比地すべりの概要、既往調査結果等を基に、地すべり対策の必要性及び当面の調査・観測方針について検討しました。

2. 第1回 由比地すべり対策検討委員会の概要

- (1) 日時 : 平成16年6月18日(金) 13:00 ~ 16:00
- (2) 場所 : 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
- (3) 委員 : 別紙1
- (4) 事務局 : 国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所
静岡県土木部河川砂防総室砂防室

3. 検討結果の概要

別紙2

4. 今後の予定

今年度内に委員会を2回実施し、地すべり機構と地すべり対策の基本的な方針について検討する予定。

5. 解禁

指定なし

6. 配布先

中部地方整備局記者クラブ及び静岡県政記者クラブ

7. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所 TEL: 0544-27-5221 (代)
副所長 早川 信光
建設専門官 林 満

静岡県土木部河川砂防総室 砂防室 TEL: 054-221-3382
室長 加納 章
傾斜地係長 水野 秀明

第 1 回 由比地すべり対策検討委員会

出席委員名簿

(五十音順・敬称略)

大羽 宏和	東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部 企画開発部 担当課長
長田 真一	国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路管理課長
(代理：中川 義治	中部地方整備局 道路部 道路管理課長補佐)
木全 俊雄	国土交通省 中部地方整備局 企画部 防災対策官
境 道男	国土交通省 中部地方整備局 河川部 電気通信調整官
佐野 平一郎	由比町 建設課長
菅野 一弘	国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局長
土 隆一	静岡大学 名誉教授
土屋 智	静岡大学 農学部 森林資源科学科 教授
富田 陽子	国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所長
中村 浩之	東京農工大学 大学院 教授
新津 武史	国土交通省 中部運輸局 鉄道部技術課長
西本 晴男	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ長
藤田 壽雄	社団法人 日本地すべり学会 理事
前田 幹夫	静岡県 総務部防災局 防災政策室長
松尾 修	独立行政法人 土木研究所 耐震研究グループ長
溝江 実	日本道路公団 東京管理局 保全企画課長
森本 励	国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所長
山崎 省一	静岡県 土木部 河川砂防総室 砂防統括監

: 委員長

: 出席委員

第 1 回由比地すべり対策検討委員会 検討結果 概要

1. 地すべり対策の必要性

由比地区（サッタ山）は、以下の観点から調査を実施し、地すべり対策の検討を進めていく必要がある。

地すべり発生の可能性

- ・過去の斜面災害が確認されている。
- ・地すべり地形の存在が確認されている。
- ・地質に地すべりの素因が確認されている。
- ・当該地区内の擁壁や道路などに近年と思われる亀裂やはらみなどの変状が確認されている。
- ・当該地区の隣接地で地すべり対策を実施中であり、地形等に類似点が多い。
- ・東海地震の発生のおそれが高い。

地すべりによる影響の大きさ

- ・保全対象が極めて重要である。

2. 当面の調査および観測方針

地すべり対策の方針を明確にするため、以下の方針で調査および観測を実施し、地すべり機構を明確にする。

地すべりの規模やすべり面を確認するための地形・地質調査

- ・現地調査、航空写真判読、調査ボーリング等。

地すべりによる変状や発生要因等を確認するための観測

- ・孔内傾斜計、地下水位計、地盤傾斜計、歪計、GPS 等。

第 1 回 由比地すべり対策検討委員会

日 時 : 平成 16 年 6 月 18 日 (金) 13 : 00 ~ 16 : 00
場 所 : 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」910 会議室

議 事 次 第

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 . 開 会 | 13 : 00 |
| 2 . 挨 拶 | 13 : 00 ~ 13 : 05 |
| 3 . 委員紹介 | 13 : 05 ~ 13 : 10 |
| 4 . 設立趣意および規約説明 | 13 : 10 ~ 13 : 15 |
| 5 . 委員長挨拶 | 13 : 15 ~ 13 : 20 |
| 6 . 議 事 | 13 : 20 ~ 15 : 50 |
| 由比地すべりの概要 | |
| 既往調査 | |
| 機構解析 | |
| 地すべり発生要因 | |
| 保全対象物 | |
| 由比地すべりに関する基本方針 (案) | |
| 7 . 閉 会 | 15 : 50 ~ 16 : 00 |

設立趣意書

静岡県庵原郡由比町由比地区は、糸魚川 - 静岡構造線に近接する地質特性を有しつつ、日本の大動脈である重要交通施設（JR東海道本線・国道1号・東名高速道）が、急峻な山地と近接する海岸に挟まれた区域に併走している要所であり、防災上の重要な地区となっています。

由比地区では昭和36年の大規模地すべり及び昭和49年の七夕豪雨等々による災害が発生し、多大な被害を受けながらも、国土の保全と営造物の機能回復に努め、現在に至っています。

この度、由比地区（サッタ山）において新たに地すべり地形が確認された他、平成13年12月の中央防災会議によれば、東海地震で震度6強もしくは7の震度が想定されております。このような経過を受け、当地区に関して、豪雨や東海地震等により大規模な地すべりが発生するおそれがあることに鑑み、地すべり機構とその対策の基本的な方針について、日本の大動脈である重要交通施設等に対する影響の可能性を踏まえつつ、検討していく必要があることから、「由比地すべり対策検討委員会」を設立するものです。

「由比地すべり対策検討委員会」
規 約

第 1 条 名 称

本委員会は、「由比地すべり対策検討委員会」(以下「委員会」という)と称する。

第 2 条 目 的

委員会は、由比地区(サッタ山)に関して、豪雨や東海地震等により大規模な地すべりが発生するおそれがあることに鑑み、地すべり機構とその対策の基本的な方針について、日本の大動脈である重要交通施設等に対する影響の可能性を踏まえつつ、検討することを目的とする。

第 3 条 基本検討事項

委員会は、前条の目的を達成するため、次の検討を行う。

主な既往委員会等の内容の確認

地すべり機構にかかる検討

地すべり対策の基本的な方針にかかる検討

第 4 条 構 成

委員会は、別表 - 1 の委員で構成する。

第 5 条 役 員

委員会に役員として、委員長 1 名をおく。

1) 委員長は、委員会を代表する。

2) 委員長は必要に応じ委員長代理を指名し、委員長が不在のときはその職務を代行させることができる。

第 6 条 委員会の開催

1) 委員会は、委員長が必要に応じて招集する。

2) 行政委員については、審議案件の内容に応じて関連する委員の出席を求めるものとする。

3) 委員長は、審議案件の内容に応じて委員の増員及び委員以外の出席を求めることができる。

第 7 条 事務局

委員会の事務局は、「中部地方整備局 富士砂防事務所 および 静岡県 土木部 河川砂防総室 砂防室 」におく。

第 8 条 その他

委員会の規約改正、その他運営に関して必要な事項は委員会において定める。

付則 この規約は平成 16 年 6 月 18 日から施行する。

(別表1)

由比地すべり対策検討委員会

委員名簿

(五十音順・敬称略)

大羽 宏和	東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部 企画開発部 担当課長
長田 真一	国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路管理課長
木全 俊雄	国土交通省 中部地方整備局 企画部 防災対策官
境 道男	国土交通省 中部地方整備局 河川部 電気通信調整官
佐野 平一郎	由比町 建設課長
菅野 一弘	国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局長
土 隆一	静岡大学 名誉教授
土屋 智	静岡大学 農学部 森林資源科学科 教授
富田 陽子	国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所長
中村 浩之	東京農工大学 大学院 教授
新津 武史	国土交通省 中部運輸局 鉄道部技術課長
西本 晴男	独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ長
藤田 壽雄	社団法人 日本地すべり学会 理事
前田 幹夫	静岡県 総務部防災局 防災政策室長
松尾 修	独立行政法人 土木研究所 耐震研究グループ長
溝江 実	日本道路公団 東京管理局 保全企画課長
森本 励	国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所長
山崎 省一	静岡県 土木部 河川砂防総室 砂防統括監